

正直古墳群「正直 35 号墳」現地見学会



令和4年12月17日(土) 午前の部 10:00~12:00
午後部 13:30~15:30

郡山市文化スポーツ部文化振興課
公益財団法人郡山市文化・学び振興公社
文化財調査研究センター

【本日の流れ】

※現地見学会は、事前申し込まれた方のみ参加可能です

1 開 会 (午前の部 10:00 午後の部 13:30)

2 挨拶

3 概要説明

(移 動) ※ご案内する番号の公用車に分乗して移動します。

4 現地見学

(移 動) ※行きと同じ番号の公用車にお乗りください。

5 解散 (午前の部 12:00 午後の部 15:30)

1. 正直古墳群とは

正直 B 遺跡と複合する古墳群で、往時は 41 基以上の古墳が 8 つの支群に分かれて存在していたと考えられています。

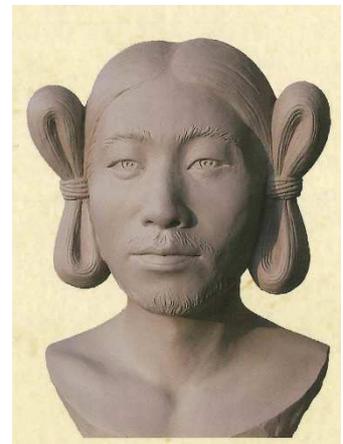
正直 B 遺跡からは竪穴式住居跡などが発見され、集落とこれに伴う古墳の対応関係が明らかな遺跡として珍しく、貴重な遺跡です。また、谷田川を挟んだ対岸に位置している大安場古墳群との関係性など、郡山市の古墳時代を解明する上でも重要な遺跡です。

古墳群は、前方後方墳 1 基、方墳数基と円墳で構成され、築造時期は古墳時代前期～中期（約 1,650 年前～約 1,550 年前）とみなされています。

既に発掘調査が行われたものや未調査のまま墳丘を失ったものもありますが、現在、墳丘状の高まりが観察できるものは 24 基です。

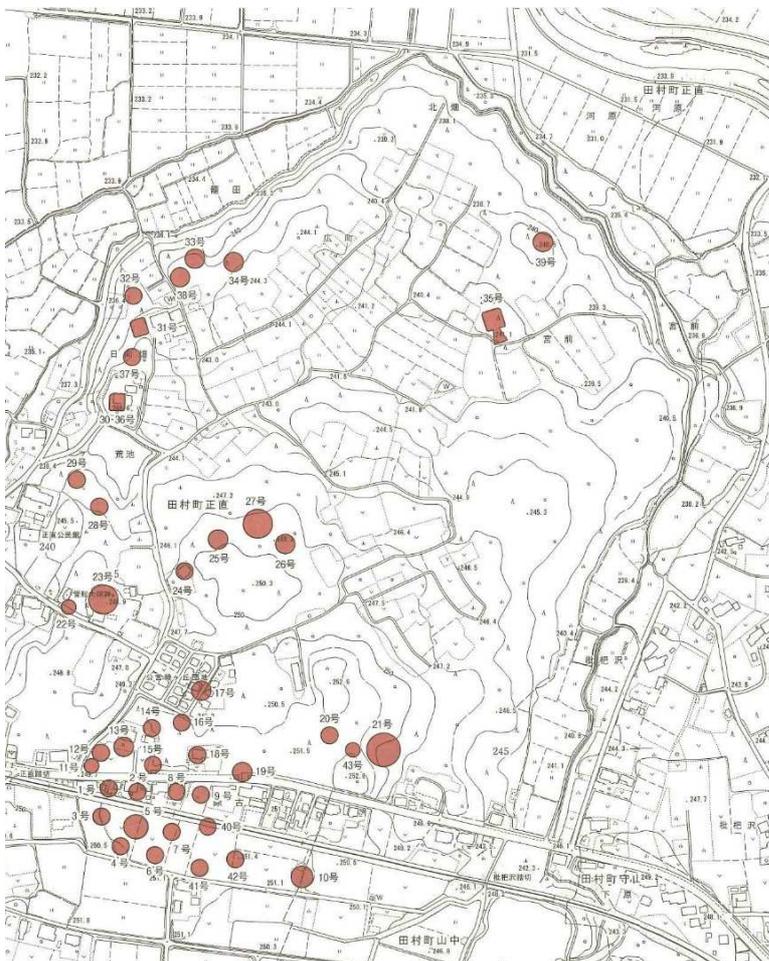
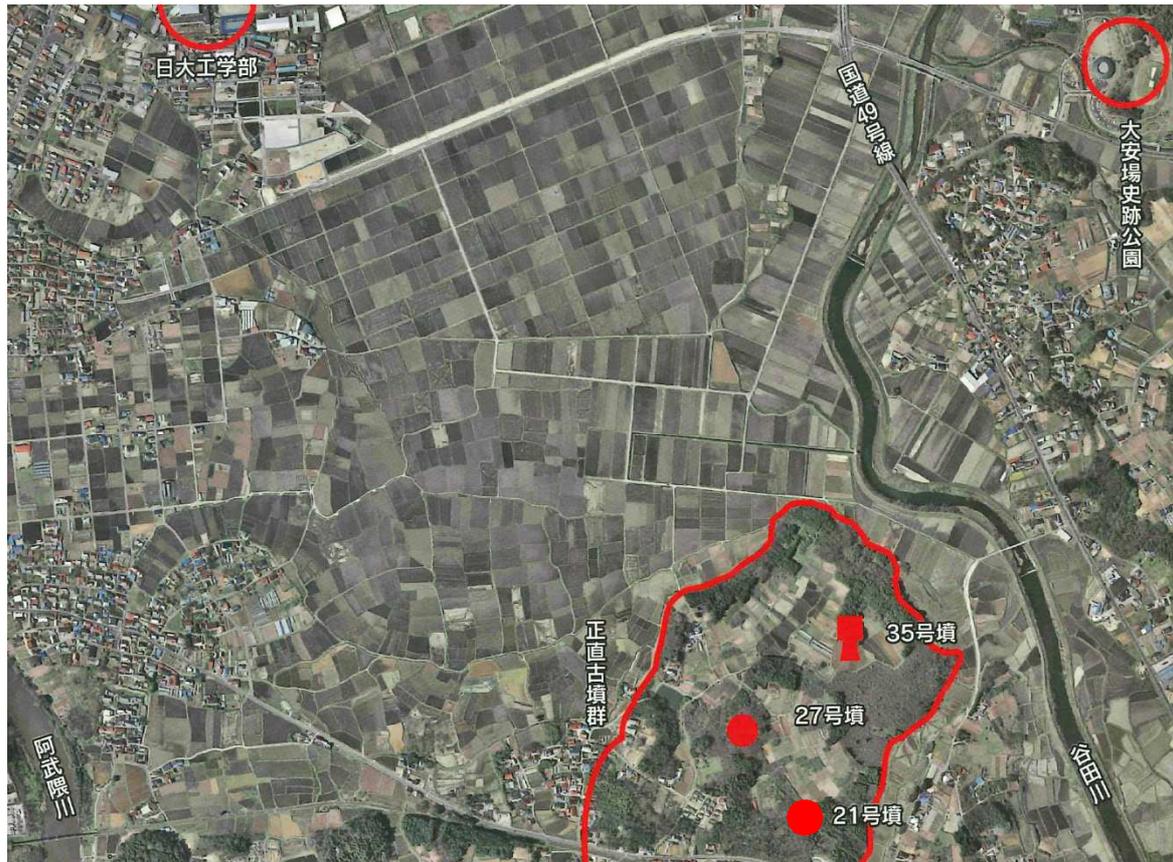
古墳群の中でも大型の古墳からは、「石製模造品」が多数出土しているほか、27 号墳の石棺からは人骨 3 体分が出土しており、うち 1 体の人骨からの復顔が行われ、大安場史跡公園ガイダンス施設に展示されています。

過去に建設・開発行為に伴う発掘調査や学術調査を単発的に行ってきた経過がありますが、郡山市では、平成 29 年以降、文化庁の国庫補助事業として、保存を目的とした発掘調査を継続して実施しています。



(正直 27 号墳被葬者復顔)

【正直古墳群全体と正直 35 号墳の位置】



出典：『正直古墳群調査保存事業
正直古墳群 - 第4次発掘調査-』
(2022年郡山市教育委員会)

2. 正直 35 号墳について（調査の成果）

正直 35 号墳は、正直古墳群の北東部に位置しており、隣接して 39 号墳が所在します。後方部の上面には、かつて菅布禰^{すがふね}神社が存在し、社殿建設に伴い削平されています。

当初は前方後円墳と考えられていましたが、平成 3 年の測量から前方後方墳であることが判明し、令和元年から実施している発掘調査で墳長 37m の前方後方墳であることが確定しました。

埋葬施設は発見されず、社殿建設のさいに削平された可能性が高いと思われませんが、墳丘を構築している途中で埋葬施設を設置する方法もあることから、現段階では埋葬施設は未確認となります。

調査の中では、墳丘の盛り方もわかってきました。後方部に小丘を作り、そこから南側に土砂を流し盛土を作り、ある程度の高さになったら整地を行う。これを繰り返したのではないかと考えられます。

墳丘の周りからも遺構や遺物が発見されています。前方部と後方部のつながりのくびれ部分からは、赤色面が検出され、祭祀や儀礼の痕跡である可能性が考えられます。一部分からは、区画溝のような溝跡が見つかりましたが、遺物がないため正確な時期や用途ははっきりしていません。

出土した土師器^{はじき}の形状から、古墳時代前期の築造とみられます。また、弥生土器が多数出土しており、これらは弥生時代中期から後期の資料とされます。

【用語説明】

- 古墳・・・・・・古代の墓で、土を高く盛り上げ、その中に遺骸を納めたもの。日本では 3 世紀後半から 7 世紀頃にかけて造られた。有力者、地方豪族など、当時の支配者又はそれに準じた身分の高い人を埋葬したものとされる。
- 石製模造品・・・・古墳時代の中期から後期に、滑石など軟質の石を材料にして、各種の器物（勾玉・剣・刀子など）の形をまねて作った祭祀用品のこと。
- 石棺・・・・・・遺体を納めるための石で作られた棺（ひつぎ）で、古墳時代では、初期を除いてほぼ全期間に認められる。
- 土師器・・・・・・弥生土器の流れを汲み、古墳時代から奈良・平安時代まで生産された素焼きの土器

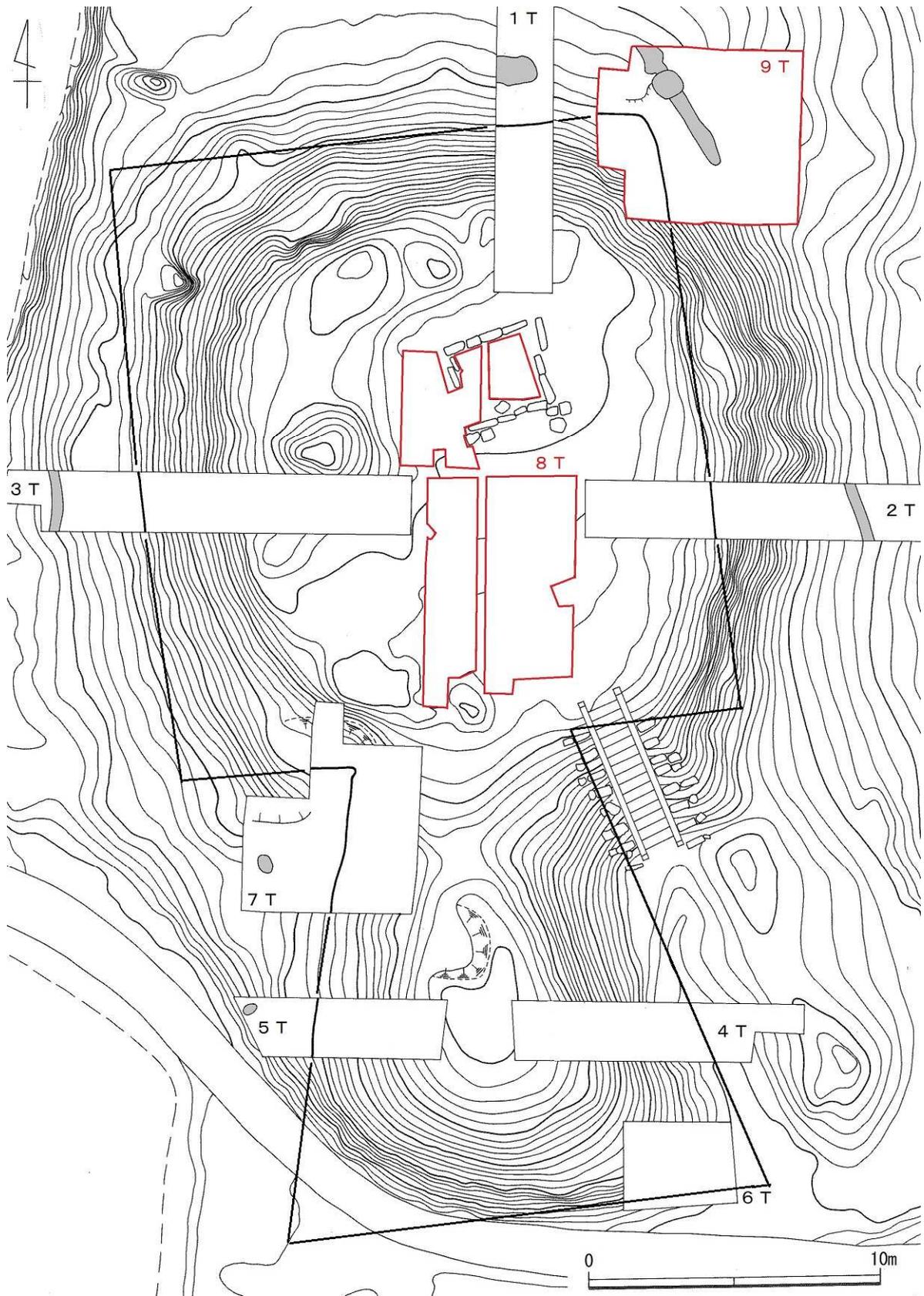


图1 35号墳墳形想定図

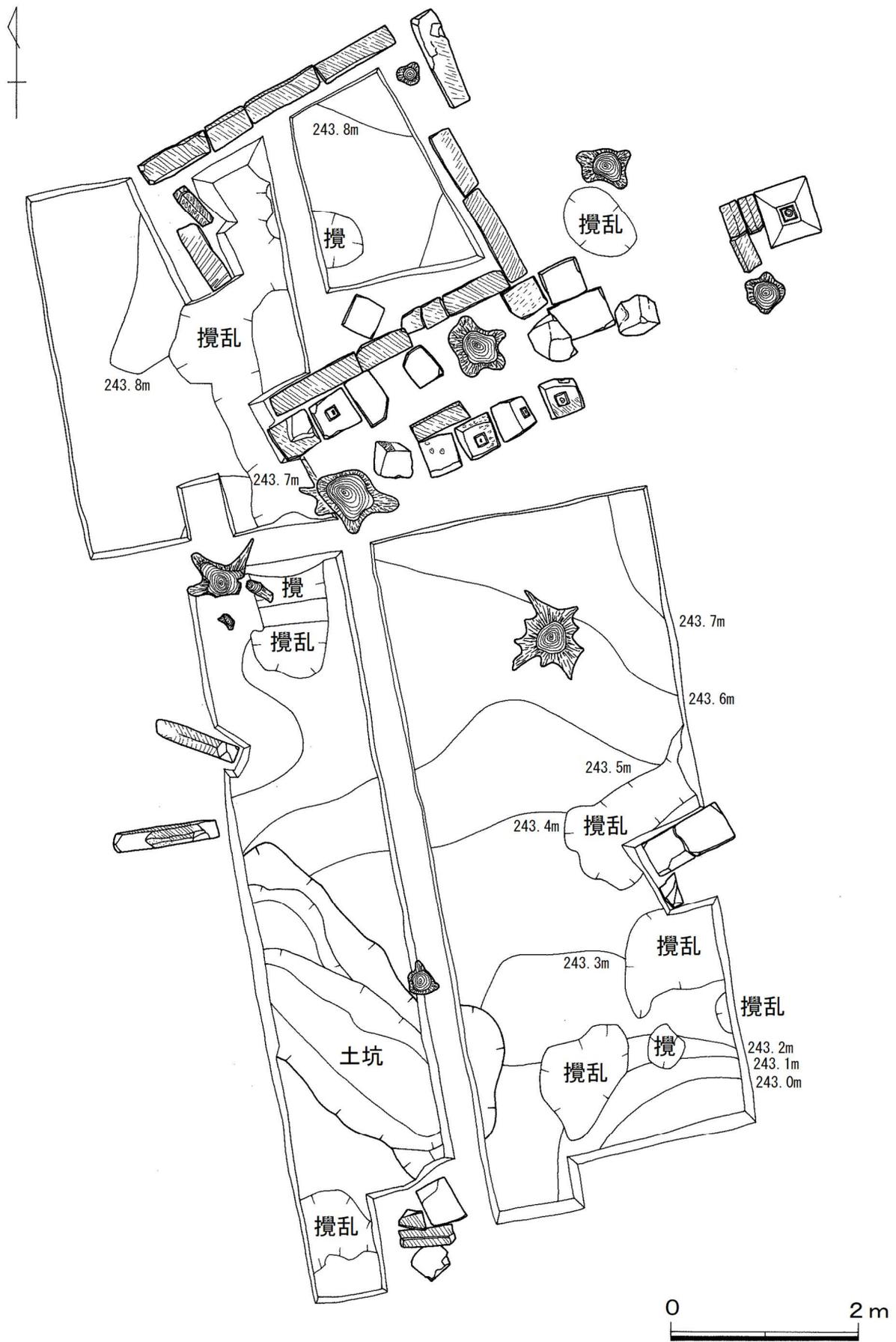


図2 35号墳8号トレンチ平面図

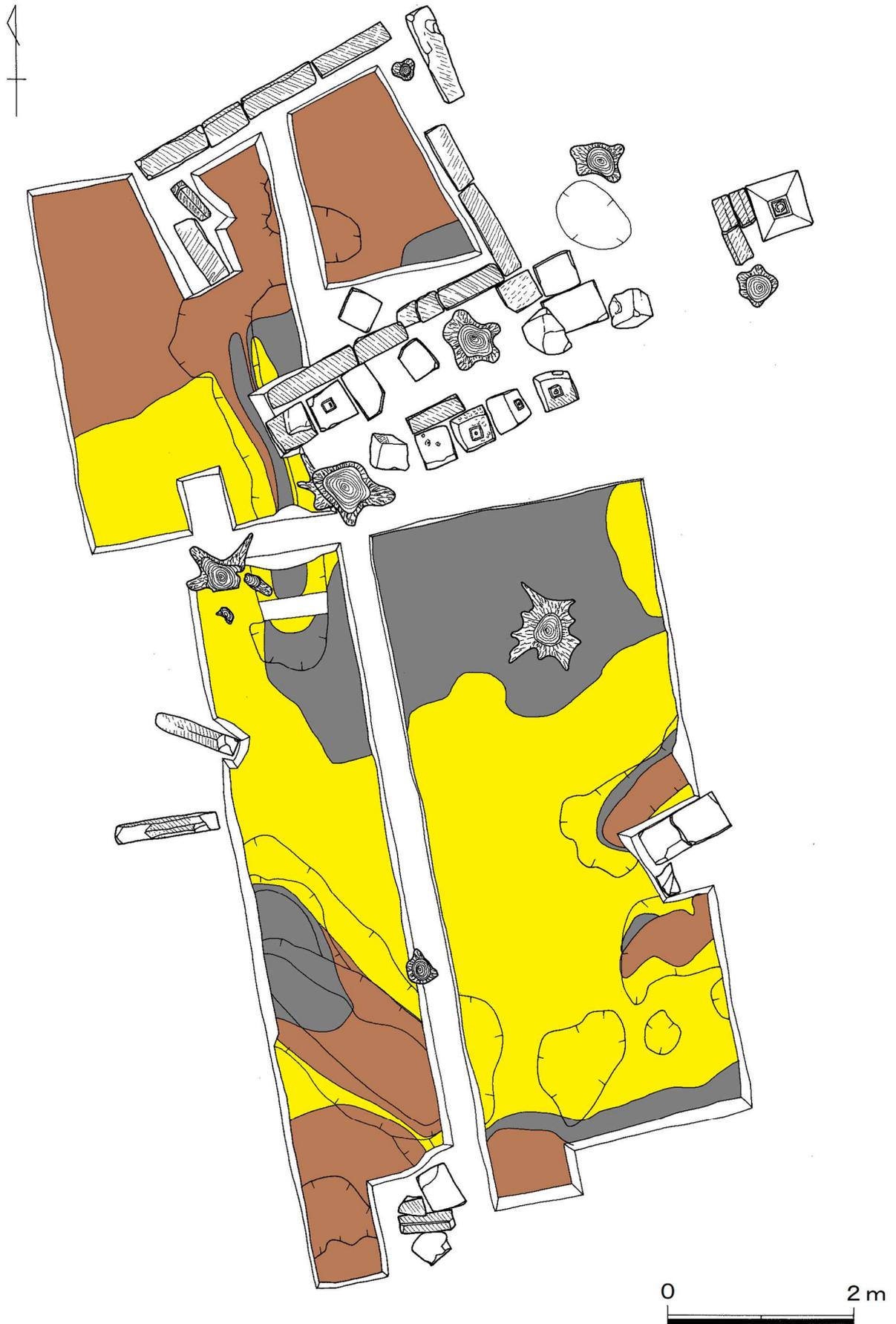


図3 35号墳8号トレンチ盛土土層分布

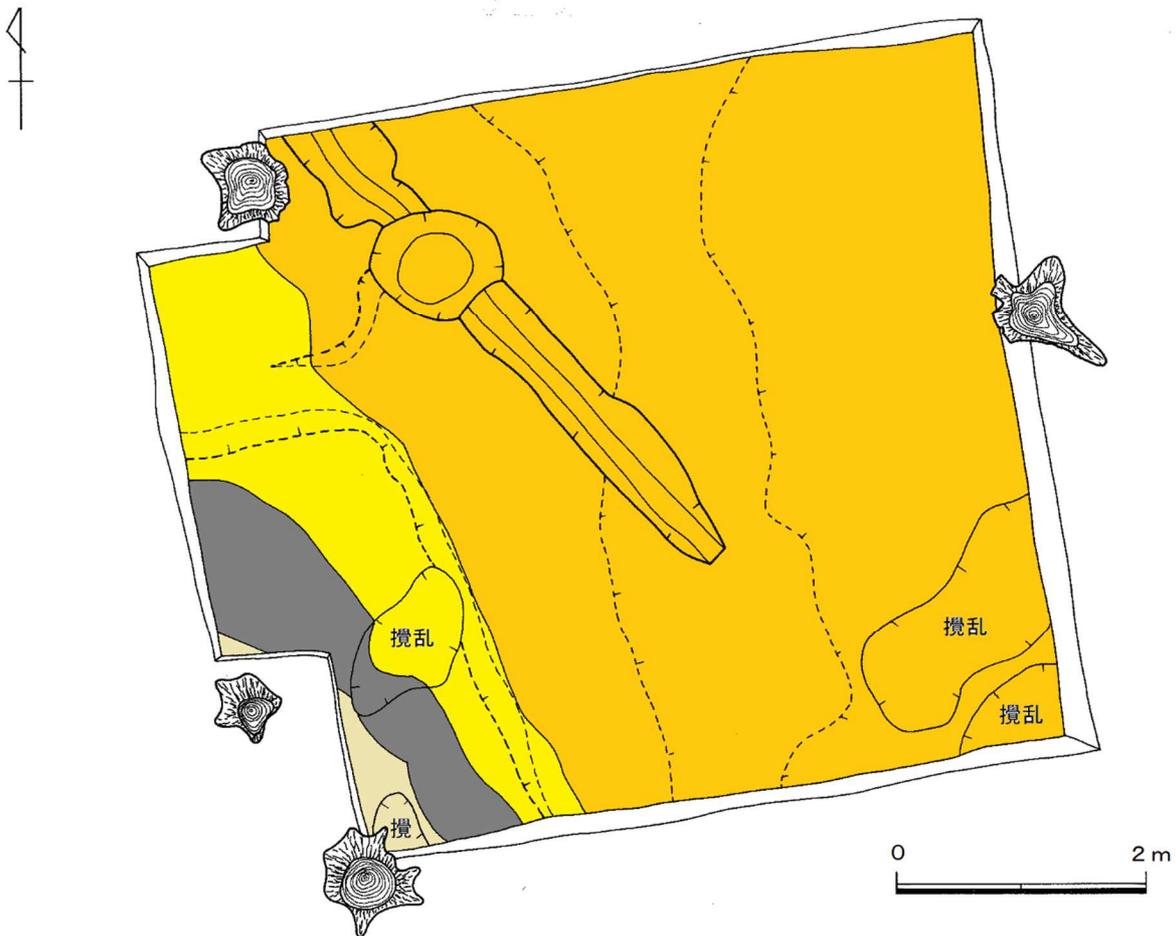
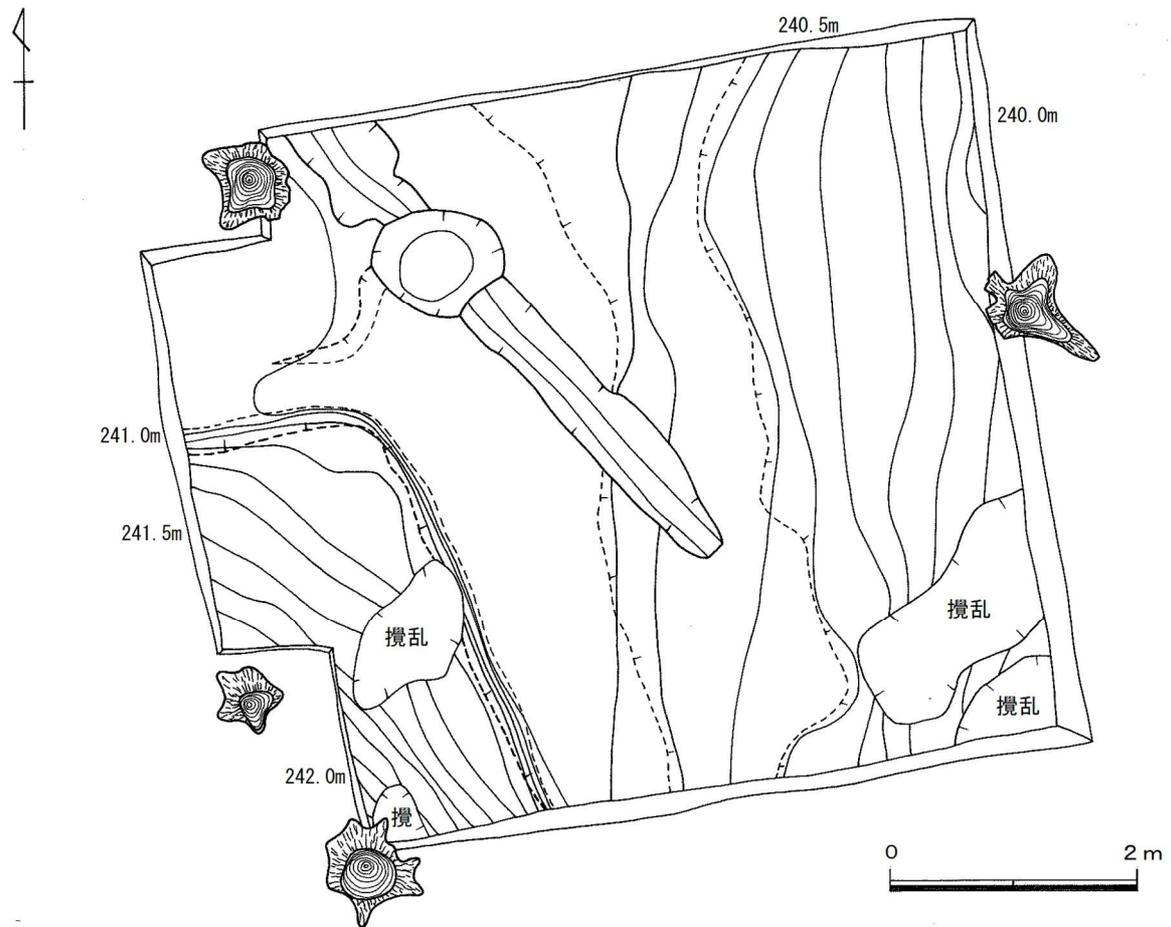
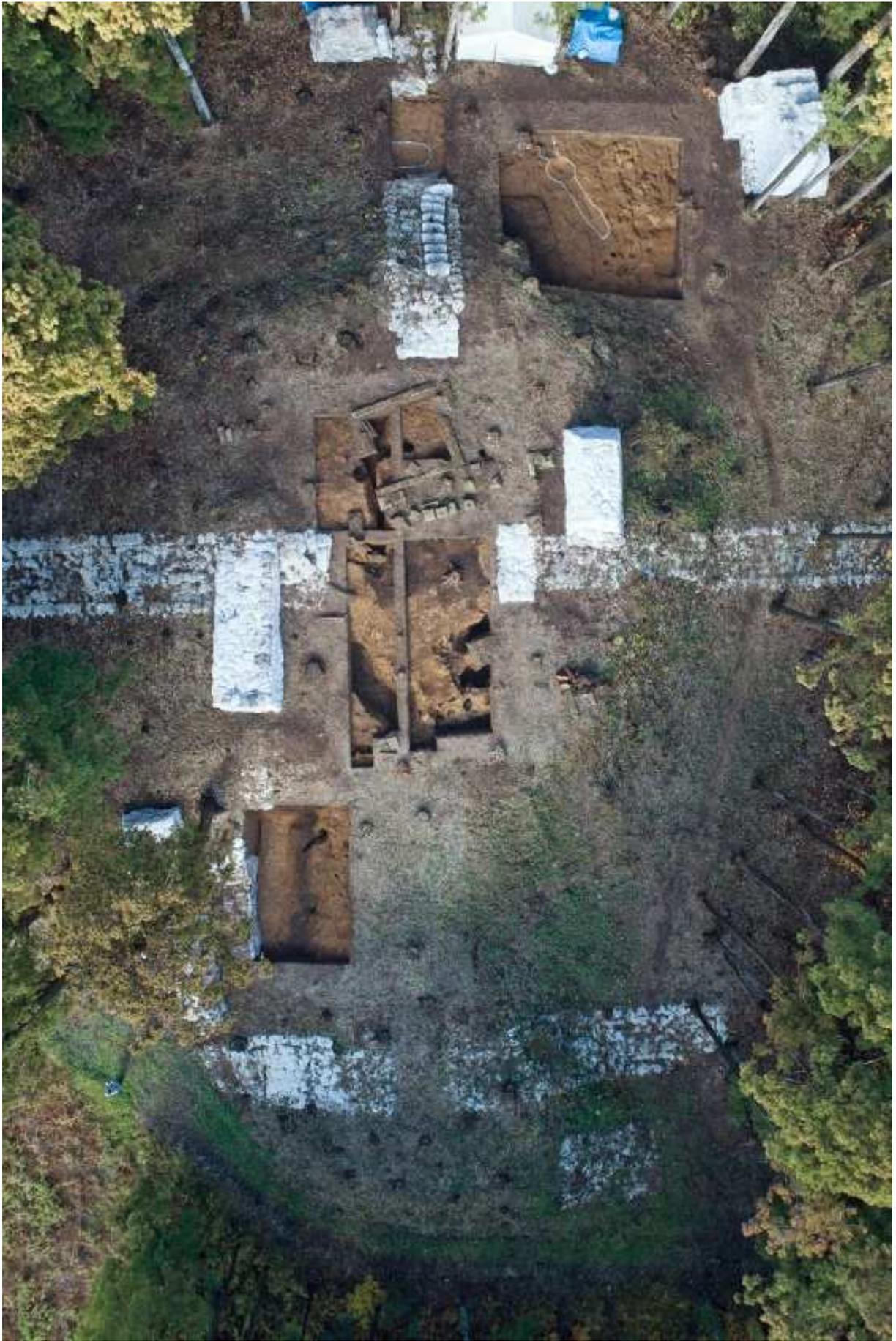


図4 35号墳9号トレンチ平面図（上）と盛土土層分布（下）



35号墳 空中撮影



35号墳 上空（南から）



8トレンチ（上）と9トレンチ（下）

【正直 35 号墳 調査要項】

調 査 期 間 第3次：令和元年9月～12月（1T～5T）
第4次：令和3年11月～令和4年1月（6・7T）
第5次：令和4年10月～12月（8・9T）

調査保存懇談会委員 菊地芳朗（会長）・藤澤 敦・玉川一郎

調 査 主 体 者 郡山市教育委員会

調 査 委 託 者 郡山市（文化スポーツ部文化振興課文化財保護係）

調 査 担 当 者 公益財団法人郡山市文化・学び振興公社
（文化財調査研究センター）

※第1次（平成29年）、第2次（平成30年）は、正直21号墳を調査。

メモ

Handwriting practice area consisting of 15 horizontal dashed lines.



古代人がくとくん